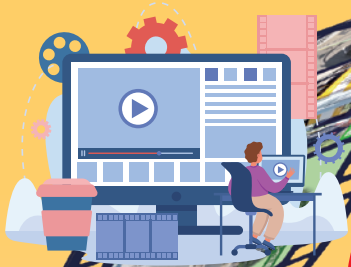


おてがる

動画制作

いたします



スマホで
撮影した動画に
テロップや音楽を
つけてリーズナブルな
価格で提供
いたします

新商品の使い方や
取説をショート動画で
説明すればPR効果もアップ!



弊社制作実績例

豊中市基盤保全課様
道路・公園等不具合
通報サービス ▶▶▶



豊中市公式 LINE

道路・公園等
不具合通報
サービス



豊中市基盤整備課様
大阪音楽大学
周辺道路整備事業 ▶▶▶



ご用命・お問合せは、お気軽に担当営業までお声掛けください。

D-WAVE

12

大和写真工業(株)

本社
高槻支店

大阪府豊中市三和町4-3-1
大阪府高槻市明田町1-12

TEL 06-6331-1807(代)
TEL 072-681-1805(代)

FAX 06-6332-4553
FAX 072-681-1830

ディー・ウェーブ

D-WAVE

MONTHLY NEWS LETTER PRESS vol.215

2025

12

December

どんな景色があるんだろう。



次の扉のむこうには

May the future be filled with hope.

2025年もあとわずか。自分なりに1年を振り返ってみました。

まずは地元「大阪・関西万博」開催。当初の低評判を覆し、中盤からSNSで盛り上がり、大成功で幕を閉じたのはうれしかった…。(ミyakミyakは流行語トップ10入賞!)

そして今年も米大リーグ大谷翔平選手の活躍。

ナ・リーグCS第4戦の「先発7回10奪3振、3本塁打」には驚きを超えて超感動しました。(漫画ですかー!?)

けれど、あらゆる物の値段が上がる物価高は今年も収束せず、仕事面では材料費高騰のなか価格転嫁も思うように進まず、更にデジタル化による紙の印刷物の減少など本当に苦しい1年でもありました。

来年こそ明るい年にするべく、紙に頼らず、AIの活用や新商品「クルQR」のご提案、動画コンテンツ作成、簡易看板「アルぱね」等で皆さまのお役に立てるようしっかり取り組んでまいります。

今年1年本当にお世話になり、ありがとうございました。

代表取締役 鶴井 宏尚

温かい

つながろう、話そう、だから発刊します！

NEWS LETTER

は冷めない！

顧客のみならず、社員のみなさんと、もっと交流できれば…

そんな想いをこめたニュースレターが今再び脚光を浴びています。デジタル化社会のなかで、人を身近に感じられる手紙のようなツールは魅力的です。



12月の豆知識 ニュースレターの歴史は？

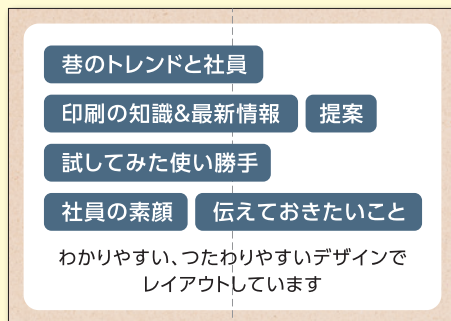
古代ローマ時代に公職者の間や、友人間の手紙交換としてスタート。中世には商業取引を伝えるものとして。16世紀頃に新聞の原型になり、20世紀には企業などの組織が、自社にまつわる情報や話題を顧客や従業員に向けて定期的に送り届ける刊行物として広がってきました。

当社とお客様を繋ぐホットライン D-WAVEは17年目！

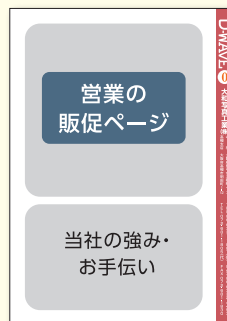
<表紙>



<中面>



<表4>



当社のnewsletter「D-WAVE」は、お客さまへのお役立ち情報発信として2008年1月に誕生し、今年で17年目、215号になりました。お客様だけでなくしっかり社内報としての役目も果たしています。

D-WAVEの
効果は

- お客様との親密度UP！
- 名刺代わりに！
- 社内コミュニケーションもUP！
- お客様のお悩み解決の提案も！



マスコットキャラクター りんちゃんも誕生しました！

ニュースレターにはさまざまなカタチがあります

企業のブランディングを意識した

企業のカラー（伝統・信頼・先進など）を重視した
格調ある読み物冊子 …… 季刊誌

マーケティングに特化した

専門記事主体のページもの
展示会などでも配布 DMとして送付

社内のコミュニケーションを目的

社内の従業員に向けて、
共感で士気を高める報告や話題作りの記事
社員同士での解決策などの社内報

最近では、メールを通じて毎月発信するメールマガジン

ニュースレターの大切な3本の柱は

①人の存在

⇒ スタッフの素顔や自身の個性、
価値観などの紹介で共感を得る

②専門職の対応

⇒ 業界の知識や有益情報・提案など
分かりやすく提供する

③信頼を構築

⇒ 必ず毎月続けて届けること
長期的な信頼関係を築く

企業の姿勢やスタッフの素顔がみえる紙面は、信頼を築き、
お客様がファンになってくれることで、企業のブランドイメージUPにもつながります。